

柿崎第二保育園 食育活動

食育集会(毎月19日)

旬の食べ物や食べ物の働き、マナーについてなど季節に応じたテーマに沿って集会を開いています。少しでも食への興味関心が高まり、食べることの大切さや楽しさが伝わるようにと願い、保育者が工夫を凝らして子どもたちに伝えています。



野菜の栽培・収穫

年長クラスを中心に園士先生と一緒に野菜作りに取り組みます。他のクラスも段々と大きくなっていく野菜たちを日々観察し、収穫を楽しみに待ちます。さつまいも掘りなどは、どのクラスも待ちきれずに畑に出てきて土の中からどんどん出てくるさつまいもに感動しっぱなし。驚きや発見を共有し、時には自然の厳しさも体験しながらやっとならぶ野菜たちの美味しさは子どもたちにもしっかりと伝わります。

給食放送

毎日12時を過ぎると年長クラスのお当番が「今日の献立は～」と放送をしています。毎日聞こえてくる放送を他のクラスはとても楽しみにし、日々出される「給食クイズ」の正解を知っては歓声をあげています。年長さんも1年経つ頃には自信を持って放送できるようになります。



今日の給食なあに?(給食室の小窓)

給食室が見える小窓を覗いて献立を聞くのが日課の子どもたち。沢山の果物が見えて、「今日はバナナだよ!!」といち早く最新情報を仕入れている子どもたちです。

○給食運営会議○

各クラスの喫食状況や献立について月に一回話し合いをしています。柿崎第二保育園の子どもたちはよく食べる子が多く、好き嫌いによる残食も少ないです。

話し合いの中で各学年の共通の課題となったのが「箸・スプーンの持ち方」です。一度身に付いた持ち方のくせを治すことが声掛けだけでは難しく、遊びの中から楽しんで身に付けたり改善したりしていこうと取り組んでいます。



持ち方の達人
を見つけました!



給食の時間に正しい持ち方を伝えるだけでなく、遊びの中に年齢に応じて正しい持ち方に繋がるような、手先指先を使う遊びを積極的に取り入れています。

本物のお箸だけでなく紙を丸めた棒を使うことで気軽に楽しめます。運ぶものを粘土、ストロー、ボタンと難易度を変えたり、紙皿、ヨーグルトカップ、空き箱と容器を工夫したりするだけで飽きずに楽しむことができます。